

事業所における自己評価結果(公表)

別紙3

公表:令和1年10月25日

事業所名: ステップきつず

	チェック項目	はい	いいえ	未記入 わから ない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お預かり児に合わせてベッドの位置など工夫している</li> <li>・子ども一人当たりのスペースは余裕がある</li> <li>・多少狭い気もする。本やおもちゃの棚の位置を工夫して危険のないように努めたいと思っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペースと利用定員の関係は、規定通りで適切であるが、ベッドや常時布団を必要とする児が多いと狭さを感じることもある。</li> <li>・座位保持椅子等が遊ぶ場所と近いスペースが狭い。</li> <li>→本棚の位置を変更。使用頻度の低いテーブルを撤去しました。</li> </ul>
	2 職員の配置数は適切であるか	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども1人に対して必ずスタッフ1名がつき、NS、フリースタッフと十分な人員が確保できている</li> <li>・1対1で保育に入れている。政策などはフリーのスタッフがいるときに手助けしてもらっている</li> <li>・子ども一人当たり1人以上の職員を配置している</li> </ul>	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入室時必ず階段を使用する必要があるため、児の身体の大きさや特性に合わせて職員の配置などを工夫する必要があると思う</li> <li>・部屋までの移動が階段や段差があり改善が必要な箇所がある</li> <li>・2階に上がる際の階段に注意が必要</li> <li>・遊ぶ場所、食事、休養する場所が全て同じ。メリハリがつきにくいのでスペース等に変化をつけられたら良いのでは？</li> <li>→本棚の位置を変更。使用頻度の低いテーブルを撤去しました。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お預かり児に合わせてベッドの位置など工夫している。</li> <li>・安全性を考慮して配置(機械等)している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃ棚の整備など、児やベッド配置に合わせて改善する点がある</li> <li>→具体的な改善点についてリストアップし、実施できるところから改善します。</li> </ul>
業務 改善	5 業務改善を進めるためPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の振り返りの時間を持っている</li> <li>・ヒヤリハットを毎日振り返りの際に確認している</li> </ul>	ミーティングを実施。共有をします。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	7	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドメイド会の時などにアンケートをつくって行っていると思う</li> <li>・アンケート実施</li> <li>・今後していく予定</li> </ul>	
	7 事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	6	1		今回初回実施のため、公開します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		8	1		今後実施する予定です。

事業所における自己評価結果(公表)

別紙3

公表:令和1年10月25日

事業所名: ステップきつず

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			・研修案内を口頭と掲示 ・随時研修に参加している	早朝勉強会などを実施。施設として年間プログラムを決めて今後も実施。 外部研修については、常勤は年1回は参加義務があるためこちらも続けて行きます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8			・スタッフからの聞き取り、自分でも子どもと関わる 1・子どもたちの好きなこと、できることを伸ばしていくことを第一として、どうやってアプローチしていくか考えている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4	1	・今年度から使用している個別支援計画がわかりやすく記録しやすい ・個別支援計画に沿った日々の振り返り	使用していない →標準化されたアセスメントツールとしては、個別の記録用紙があるがアセスメントツールという認識が薄いので周知しました。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家庭支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8			1・内容を個別対応にして作成している	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8			1・計画に沿って1日の振り返りを行い支援の方向を統一している	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2	1		子どもそれぞれの課題に対してどのようにアプローチしていくか十分に話し合いを行っていない →職員を2つのグループに分け、グループ内でお子さんそれぞれの情報整理をすることにより、話し合いやすい環境を整え、プログラム立案できるように改善しました。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1	1	・本、インターネットなどから情報収集	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	1	1		個々のデイリープログラムがあり集団での活動が難しい →個別の医療的ケアがあるため集団の時間は長時間とれていないが、組み合わせで行ってはいるので、今後ももう少し充実できるように検討していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	2		・行事の時には確認している。子どもの担当の確認はある ・朝礼を行い1日の流れをスタッフ全員で確認している	支援内容は担当に任せ気味 →現場が保育士の集団なので、あえて、保育士に任せている部分がありますが、職員に意図が伝わっていないため、計画を通して担当保育士が内容を提案できる仕組みをつくるようにします。
	18	支援終了後には、職員間で打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			・記録に基づいての振り返り時間を持っている ・気づいた点を共有するとともに、次につなげていかれるように、必ず記録を残している ・振り返りを毎日行い子どもの様子、ヒヤリハット等確認している	

事業所における自己評価結果(公表)

別紙3

公表:令和1年10月25日

事業所名: ステップきつず

関係機関や保護者との連携	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		1	その日のうちに支援内容、子どもの様子を記録するようにしている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		1		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		1		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や医療機関と連携した支援を行っているか	7	1	1	ケース会議、地域の勉強会に積極的に参加している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	1		ケース会議、地域の勉強会に積極的に参加している	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	9			同施設のため子どもの変化などこまめに報告、連絡を取り合っている	
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1		文章と口頭で情報を共有している	積極的に、通園・登校予定の施設に訪問し情報共有を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9			文章と口頭で情報を共有している	尚、進級移行後などについても継続して連携しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	3	1	見学実施。	時間的に難しく行えていない職員もいますが、施設見学の他、摂食・嚥下についてやポジショニング方法などの関わり方について、利用児の訓練に同行するなどし、積極的に助言や指導を受けるようにしています。
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	1	園庭会報や公園での交流がある	今年度は機会を作ることができていないため、今後の課題であると考えられる →感染予防の観点などもあり、制限はありますが、近隣の中砂保育園の園庭開放、イベントの参加などのプログラムを立てたいと思います。尚、近々、児童館のイベントに参加予定です。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子供・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	2	1		案内があった物については、最低1名は参加していますので、継続します。	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			・送迎時、日々の出来事を伝達 ・連絡帳や送迎時に保護者に子どもの様子を伝える努力をしている		

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和1年10月25日

事業所名: ステップきつず

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	4	1		保護者に対して家庭支援プログラムとして関わってはいませんが、児が入室時に楽しめた遊びや好きな絵本、光や音への反応や興味がどうだったかなどを伝えることで家族と一緒に喜べるようにしています。現在、もっと具体的に伝えるツールを検討しています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1	1		しっかり行って参ります。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		1			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	1	不定期	不定期でしたので今後は、定期的に日時を決めて保護者が相談しやすい環境を整えます。	
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		1	・ハンドメイド会と称して開催、保護者間の交流を図る ・年に3階保護者の交流会を実施、より多くの保護者に参加してもらえよう当日スタッフの人員を増やしたり子どものお預かりを調整している。 ・ハンドメイド会等のイベントを行い保護者同士で交流を持てる機会を作っている	継続して行います。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応している	8		1			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9				・月1回のおたより発行 ・毎月 活動内容や写真等を載せたおたよりを発行している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9					
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9					
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	3	1	・夏祭りの地域への参加よびかけ	法人全体の地域に開かれた事業運営の取り組みとして、年1回のお祭りを実施していますので継続していきます。	

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和1年10月25日

事業所名: ステップきつず

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	3	1	・職員はマニュアルの説明を受けたことがあると思う	マニュアルは作成しているものの、保護者との共通理解や日々の訓練を行っていることが必要だと考える。保護者との共通理解と訓練が乏しい。訓練が実施されていない。 → 今月から毎月1日の伝言ダイヤルの試用訓練。保護者も参加した利用時の訓練実施していきます。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	3	2		行ったことはあるもののより定期的に行う必要がある。行えていない。 → 全員移動は難しいと思うので、職員だけでも毎月実施して行きます。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8				・個人ファイル、連絡帳に服薬内容や発作時の対応を記載している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9					
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			1	・研修会には積極的に参加している	引き続き行います。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	2	1			拘束の確認はしているが、組織的には決定できておらず！具体的に保護者に説明できていない → 保護者への説明を行います。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。  
今春入職したばかりの職員が多く未記入については、未記入わからないと欄を作成しています。